

II. 結婚式場業の概況

－ 結婚式場(主業)のシェアが拡大 －

事業所数	2826事業所	(対14年比 ▲0.9%減)
就業者数	9万8668人	(" ▲15.9%減)
年間売上高	8911億円	(" ▲11.0%減)
1事業所当たり売上高	3億1534万円	(" ▲10.2%減)
就業者1人当たりの売上高	903万円	(" 5.7%増)
年間挙式・披露宴件数	35万1055件	(" ▲9.7%減)
1件当たりの売上高	254万円	(" ▲1.6%減)

1. 事業所数

平成17年の特定サービス産業実態調査の集計結果をみると、事業所数は2826事業所で、前回調査(平成14年)に比べ、▲0.9%の減少であった。

これを経営組織別にみると、「会社」が2435事業所で全体の9割弱を占め、「会社以外の法人・団体」は357事業所(構成比12.6%)、「個人」は34事業所(同1.2%)となっている。

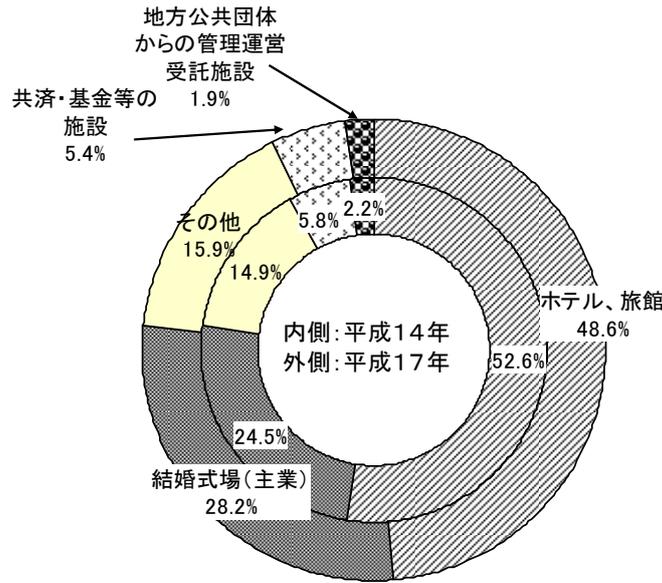
前回比をみると、「会社以外の法人・団体」は前回比▲22.7%の減少、「個人」は同▲33.3%といずれも大幅な減少となった。一方、「会社」は同4.1%の増加となった。

資本金規模別にみると、「1億円以上10億円未満」規模の事業所は同▲4.7%の減少、「10億円以上」規模は同▲4.4%の減少となり、1億円以上の事業所が減少となっている。一方、「500万円未満」規模が同20.7%の増加、「5千万円以上1億円未満」規模が同26.7%の増加となるなど、1億円未満の事業所の増加が「会社」全体の増加に寄与している。

経営組織別、資本金規模別事業所数

経営組織別、資本金規模別		平成14年	平成17年	構成比 (%)	前回比 (%)
計		2,853	2,826	100.0	▲0.9
会	社	2,340	2,435	86.2	4.1
資 本 金 規 模 別	500万円未満	121	146	5.2	20.7
	500万円以上1千万円未満	80	88	3.1	10.0
	1千万円以上5千万円未満	1,014	1,020	36.1	0.6
	5千万円以上1億円未満	344	436	15.4	26.7
	1億円以上10億円未満	533	508	18.0	▲4.7
	10億円以上	248	237	8.4	▲4.4
会社以外の法人・団体		462	357	12.6	▲22.7
個人		51	34	1.2	▲33.3

事業形態別事業所数



事業所数を事業形態別にみると、「ホテル、旅館」が1373事業所、構成比48.6%と結婚式場業務全体の5割弱を占め、次いで「結婚式場(主業)」が796事業所、同28.2%、「その他」が450事業所、同15.9%などとなっている。

前回比をみると、挙式や披露宴スタイルの多様化が進み、1軒家のような洋館を借り切って利用するハウスウェディング(邸宅風結婚式)を行う事業所の増加により、「結婚式場(主業)」が前回比14.0%の増加となっている。

事業形態別事業所数

事業形態別	平成14年	平成17年	構成比 (%)	前回比 (%)	前回差
計	2,853	2,826	100.0	▲ 0.9	▲ 27
結婚式場(主業)	698	796	28.2	▲ 14.0	▲ 98
ホテル、旅館	1,502	1,373	48.6	▲ 8.6	▲ 129
共済・基金等の施設	165	153	5.4	▲ 7.3	▲ 12
地方公共団体からの管理運営受託施設	63	54	1.9	▲ 14.3	▲ 9
その他	425	450	15.9	▲ 5.9	▲ 25

事業所数を売上高規模別にみると、「1億円以上10億円未満」規模が1366事業所、構成比44.3%と5割弱を占めており、次いで「1千万円未満」規模が373事業所、同13.2%、「1千万円以上3千万円未満」規模が343事業所、同12.1%となっている。

前回比をみると、「10億円以上」規模が前回比▲23.8%と2桁の減少となっており、これはホテル、旅館の事業所数の減少が要因としてあげられる。

年間売上高規模別事業所数

年間売上高規模別	平成14年	構成比 (%)	平成17年	構成比 (%)	前回比 (%)
計	2,853	100.0	2,826	100.0	▲ 0.9
1千万円未満	412	14.4	373	13.2	▲ 9.5
1千万円以上3千万円未満	364	12.8	343	12.1	▲ 5.8
3千万円以上5千万円未満	186	6.5	205	7.3	▲ 10.2
5千万円以上1億円未満	344	12.1	334	11.8	▲ 2.9
1億円以上10億円未満	1,278	44.8	1,366	48.3	▲ 6.9
10億円以上	269	9.4	205	7.3	▲ 23.8

2. 就業者数

平成17年の就業者数は9万8668人、前回調査(平成14年)に比べ▲15.9%の減少となった。

これを雇用形態別にみると、「常用雇用者」が7万5251人、構成比76.3%と全体の7割超を占め最も多く、次いで「臨時雇用者」が1万2067人で同12.2%となっている。

また、前回比をみると、「臨時雇用者」が前回比▲37.4%の減少、「個人事業主、無給家族従業者又は有給役員」が同▲28.1%の減少となるなど、すべての形態において減少となった。

就業者数

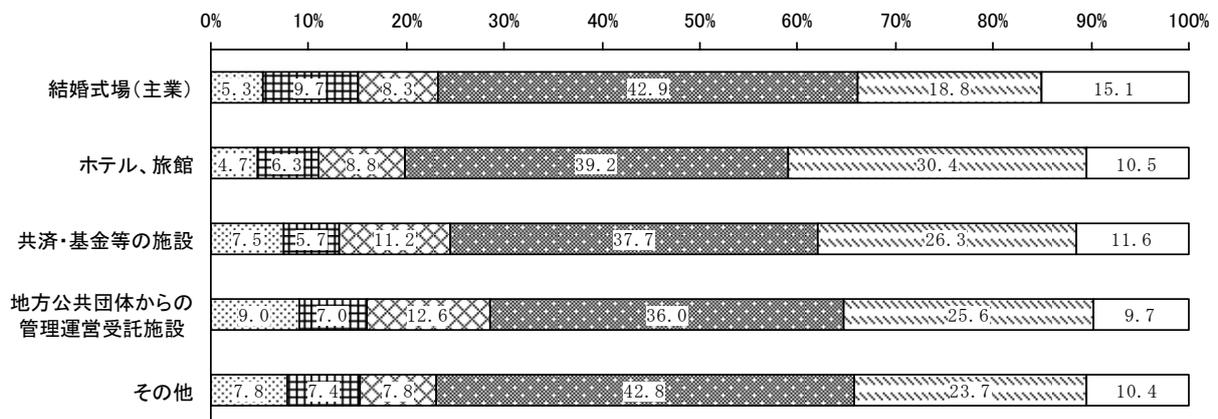
男女別、雇用形態別、部門別		平成14年 (人)	平成17年 (人)	構成比 (%)	前回比 (%)
計		117,329	98,668	100.0	▲15.9
男女別	男	53,816	44,122	44.7	▲18.0
	うち、出向・派遣者(受入)	4,265	3,795	3.8	▲11.0
女	63,513	54,546	55.3	▲14.1	
	うち、出向・派遣者(受入)	7,575	6,271	6.4	▲17.2
雇用形態別	個人事業主、無給家族従業者又は有給役員	1,787	1,284	1.3	▲28.1
	常用雇用者	84,414	75,251	76.3	▲10.9
	正社員、正職員	49,992	41,639	42.2	▲16.7
	パート・アルバイト等	34,422	33,612	34.1	▲2.4
	臨時雇用者	19,288	12,067	12.2	▲37.4
	出向・派遣者(受入)	11,840	10,066	10.2	▲15.0
部門別	企画・管理部門	5,526	4,664	4.7	▲15.6
	婚礼営業部門	7,297	6,762	6.9	▲7.3
	婚礼予約部門	8,453	7,709	7.8	▲8.8
	宴会・サービス部門	43,821	36,051	36.5	▲17.7
	調理部門	25,933	22,545	22.8	▲13.1
	その他	14,459	10,871	11.0	▲24.8
	出向・派遣者(受入)	11,840	10,066	10.2	▲15.0

事業形態別に部門別従業者数をみると、すべての事業形態において「宴会・サービス部門」、「調理部門」で6割以上を占めている。

「結婚式場(主業)」は、「宴会・サービス部門」が構成比42.9%と4割以上を占め、次いで「調理部門」が同18.8%となっている。

一方、「ホテル、旅館」は、「宴会・サービス部門」が同39.2%、「調理部門」が同30.4%と料理部門の占める割合が大きい。

事業形態別、部門別従業者数



■ 企画・管理部門 ■ 婚礼営業部門 ■ 婚礼予約部門 ■ 宴会・サービス部門 ■ 調理部門 □ その他

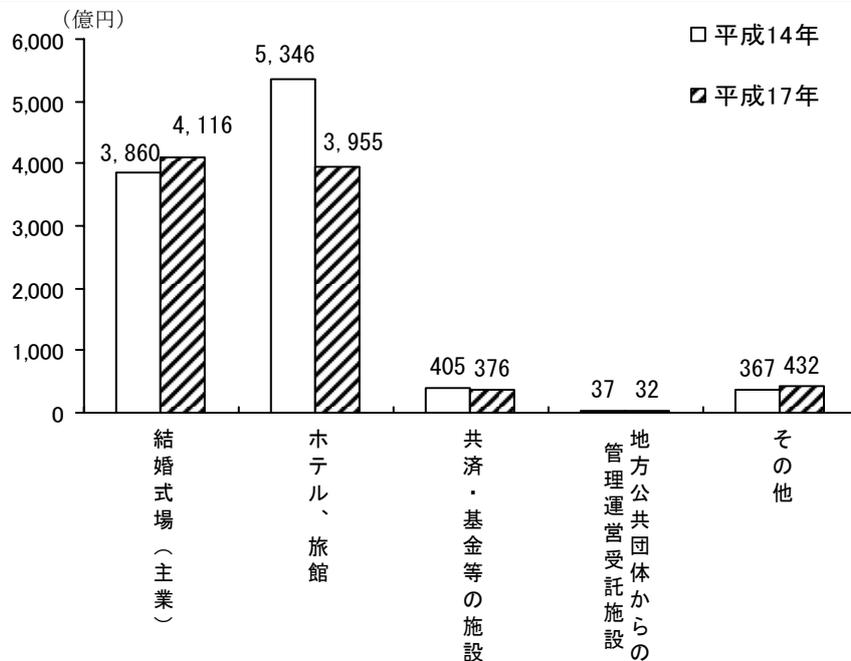
3. 年間売上高

平成17年の年間売上高は 8911 億円で前回調査(平成14年)に比べ▲11.0%の減少であった。

事業形態別にみると、「結婚式場(主業)」が 4116 億円、前回比 6.6%の増加、「その他」は 432 億円、同 17.8%の増加となった。一方、「ホテル、旅館」は 3955 億円、同▲26.0%の減少、「地方公共団体からの管理運営受託施設」は 32 億円、同▲14.2%の減少となっており、事業形態によって大きな違いがみられる。

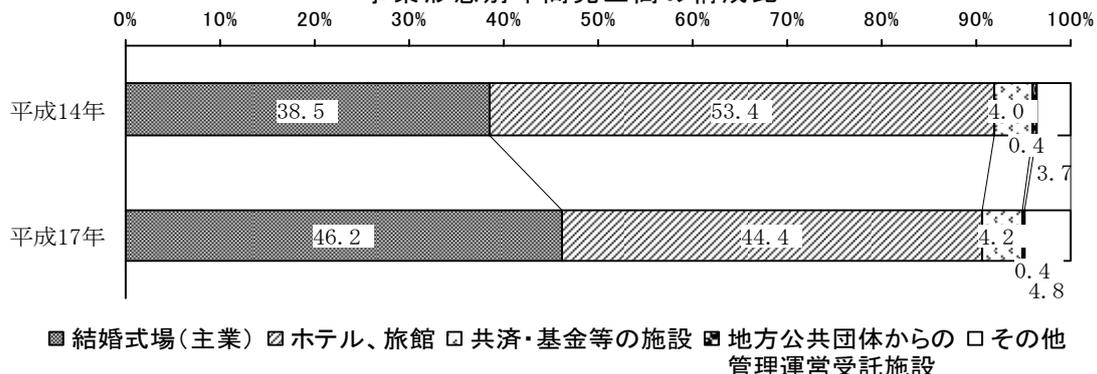
事業形態別年間売上高

事業形態別	平成14年	平成17年	構成比 (%)	前回比 (%)
	(百万円)	(百万円)		
計	1,001,597	891,146	100.0	▲11.0
結婚式場(主業)	386,018	411,583	46.2	6.6
ホテル、旅館	534,620	395,545	44.4	▲26.0
共済・基金等の施設	40,546	37,625	4.2	▲7.2
地方公共団体からの管理運営受託施設	3,732	3,202	0.4	▲14.2
その他	36,681	43,192	4.8	17.8



事業形態別の構成比を前回と比較すると、「結婚式場(主業)」は平成14年の 38.5%から、平成17年は 46.2%と 7.7%ポイントの増加、「ホテル、旅館」は平成14年には 53.4%と5割超を占めていたが、平成17年には 44.4%と大幅に減少した。この結果、「結婚式場(主業)」が、「ホテル、旅館」のシェアを上回った。

事業形態別年間売上高の構成比



年間売上高を業務種類別にみると、「挙式・介添料・室料」が「結婚式場(主業)」のリニューアル、またハウスウェディングにおいて高額となってきたことから、前回比 13.4%の増加となった以外は、「引き出物」が同▲19.8%の減少、「飲食料(サービス料を含む)」は同▲14.6%の減少、ウェディングケーキやキャンドルなどが含まれる「その他」が同▲12.1%の減少となるなど、他の種類はすべて減少となった。

業務種類別年間売上高の構成比

業務種類別	平成14年 (百万円)	平成17年 (百万円)	構成比	
			(%)	前回比 (%)
計	1,001,597	891,146	100.0	▲ 11.0
挙式・介添料・室料	38,680	43,865	4.9	13.4
飲食料(サービス料を含む)	455,030	388,538	43.6	▲ 14.6
花	57,796	56,701	6.4	▲ 1.9
貸衣装	123,995	115,332	12.9	▲ 7.0
美容・着付	43,505	39,979	4.5	▲ 8.1
写真	58,679	58,425	6.6	▲ 0.4
引き出物	110,838	88,932	10.0	▲ 19.8
その他	113,075	99,374	11.2	▲ 12.1

年間売上高規模別にみると、1億円以上が構成比 95.6%と、そのほとんどを占めている。

構成比を前回と比較すると、「1億円以上10億円未満」規模が構成比 55.9%と 8.0%ポイントの増加、「10億円以上」規模が同 39.7%と▲8.4%ポイントの減少となっており、結婚式場(主業)が最も多く属する「1億円以上10億円未満」規模が増加し、平成17年では最もシェアを伸ばしている。

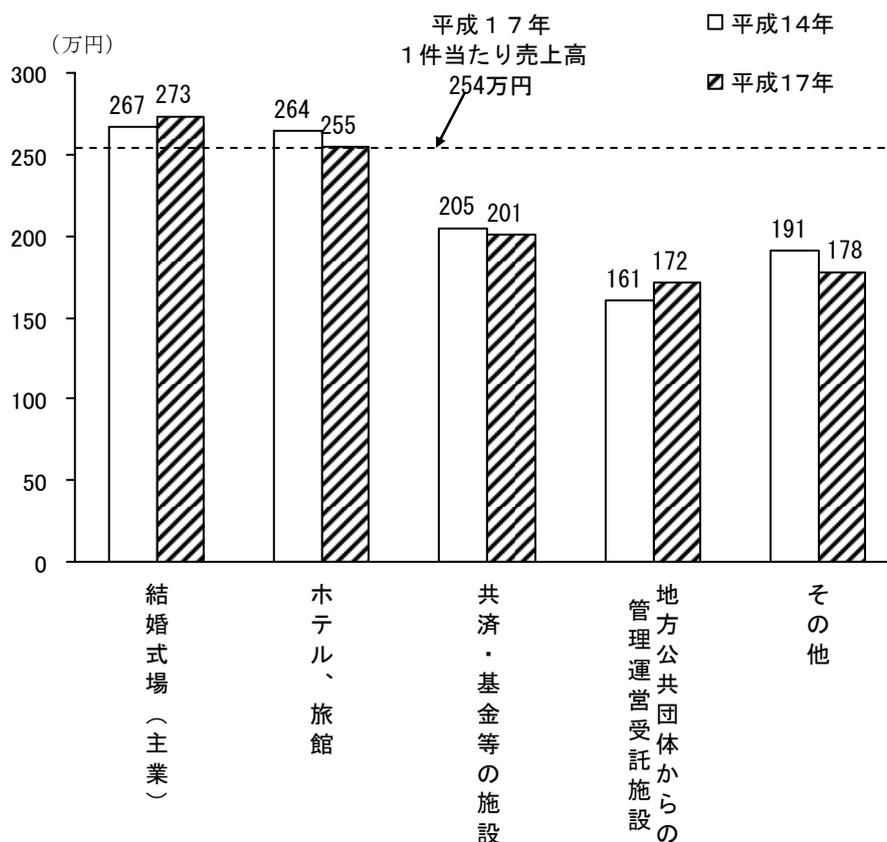
前回比をみると、事業所数と同様、「10億円以上」規模が前回比▲26.6%と2桁の減少となっている。

年間売上高規模別年間売上高

年間売上高規模別	平成14年 (百万円)		平成17年 (百万円)		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前回比 (%)
計	1,001,597	100.0	891,146	100.0	▲ 11.0
1 千 万 円 未 満	1,859	0.2	1,620	0.2	▲ 12.9
1 千 万 円 以 上 3 千 万 円 未 満	6,649	0.7	6,131	0.7	▲ 7.8
3 千 万 円 以 上 5 千 万 円 未 満	7,087	0.7	7,812	0.9	10.2
5 千 万 円 以 上 1 億 円 未 満	24,916	2.5	24,205	2.7	▲ 2.9
1 億 円 以 上 1 0 億 円 未 満	479,451	47.9	498,032	55.9	3.9
1 0 億 円 以 上	481,635	48.1	353,347	39.7	▲ 26.6

挙式・披露宴1件当たりの売上高は、254万円となり、前回比▲1.6%の減少となった。これを形態別にみると、前回に引き続き、「結婚式場(主業)」が最も高く273万円(前回比 2.2%増)、次いで「ホテル、旅館」で255万円(同▲3.4%減)、「共済・基金等の施設」が201万円(同▲2.0%減)の順となっている。

業務種類別、挙式・披露宴1件当たり売上高



4. 利用件数

平成17年の利用件数を費用規模別に前回調査(平成14年)と比較すると、挙式・披露宴件数は前回比▲9.7%の減少となっており、「400万円以上500万円未満」規模が同 4.4%の増加となった以外、すべての規模で減少となった。

次に、参加人数規模別に披露宴件数をみると、同▲11.0%の減少となっており、100人以上規模では、軒並み2桁の減少となっている。一方、「50人未満」規模は、同 2.3%の増加となっていることから、披露宴の参加人数規模が縮小傾向にあるといえる。

挙式形態別に挙式件数をみると、同▲11.6%の減少となっており、「神前式」が同▲37.6%と前回に引き続き大幅な減少、また現在の主流となっている「キリスト教式」は同 0.1%の微増、伝統や習慣にとられない自由なスタイルであることが人気の「人前式」は、同 12.0%の増加となった。

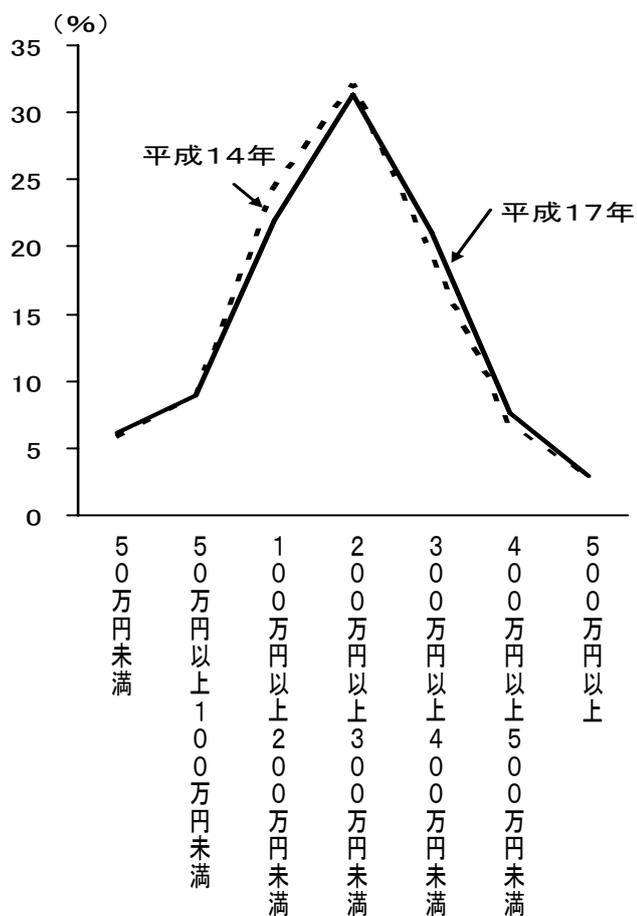
利用件数(費用規模別、参加人数規模別、挙式形態別)

	平成14年 (件)	平成17年 (件)	前回比	
			(%)	(件)
①費用規模別、挙式・披露宴件数				
計	388,727	351,055	▲ 9.7	▲ 37,672
50万円未満	22,531	21,773	▲ 3.4	▲ 758
50万円以上100万円未満	34,960	31,260	▲ 10.6	▲ 3,700
100万円以上200万円未満	95,072	77,231	▲ 18.8	▲ 17,841
200万円以上300万円未満	124,354	109,838	▲ 11.7	▲ 14,516
300万円以上400万円未満	75,284	74,098	▲ 1.6	▲ 1,186
400万円以上500万円未満	25,501	26,619	4.4	1,118
500万円以上	11,025	10,236	▲ 7.2	▲ 789
②参加人数規模別、披露宴件数				
計	376,996	335,501	▲ 11.0	▲ 41,495
50人未満	79,708	81,568	2.3	1,860
50人以上100人未満	196,515	180,607	▲ 8.1	▲ 15,908
100人以上150人未満	65,640	51,642	▲ 21.3	▲ 13,998
150人以上200人未満	22,127	13,733	▲ 37.9	▲ 8,394
200人以上300人未満	10,291	6,186	▲ 39.9	▲ 4,105
300人以上	2,715	1,765	▲ 35.0	▲ 950
③挙式形態別、挙式件数				
計	370,736	327,813	▲ 11.6	▲ 42,923
神前式	102,354	63,901	▲ 37.6	▲ 38,453
キリスト教式	208,949	209,129	0.1	180
人前式	36,360	40,731	12.0	4,371
その他	23,073	14,052	▲ 39.1	▲ 9,021

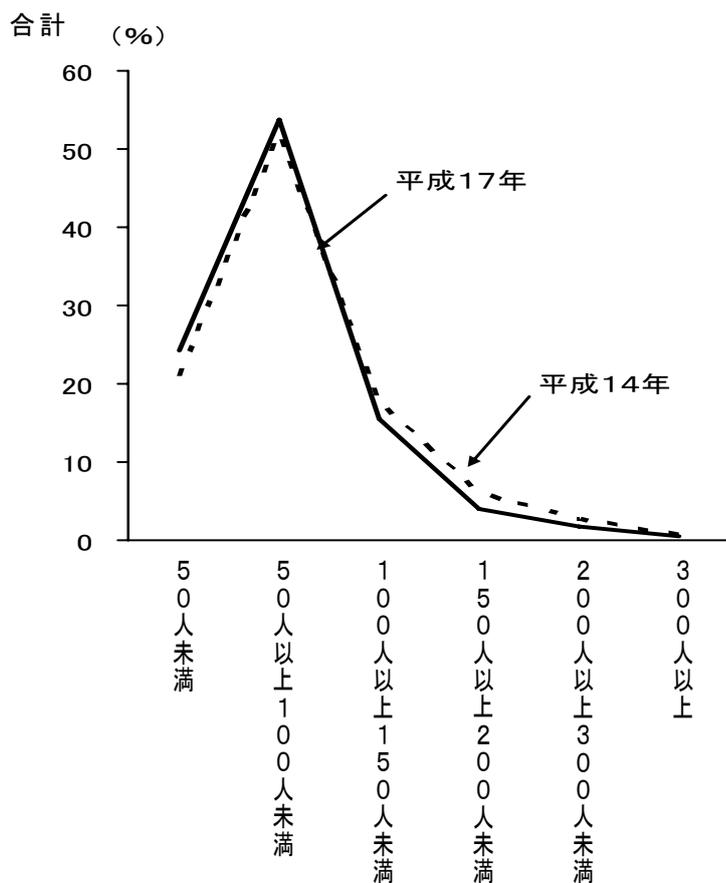
形態別に、費用規模別挙式・披露宴件数の分布を前回と比較すると、全体的には大きな変化はみられないが、「結婚式場(主業)」において、「100万円以上200万円未満」規模が縮小、「300万円以上400万円未満」規模が拡大するなど、費用規模が高い方へとシフトしている。

また、参加人数規模別の挙式・披露宴件数の分布をみると、「結婚式場(主業)」、「その他」において100人未満の規模が拡大、「ホテル、旅館」、「共済・基金等の施設」については「50人未満」規模が拡大するなど、列席者の少数化がみられる。

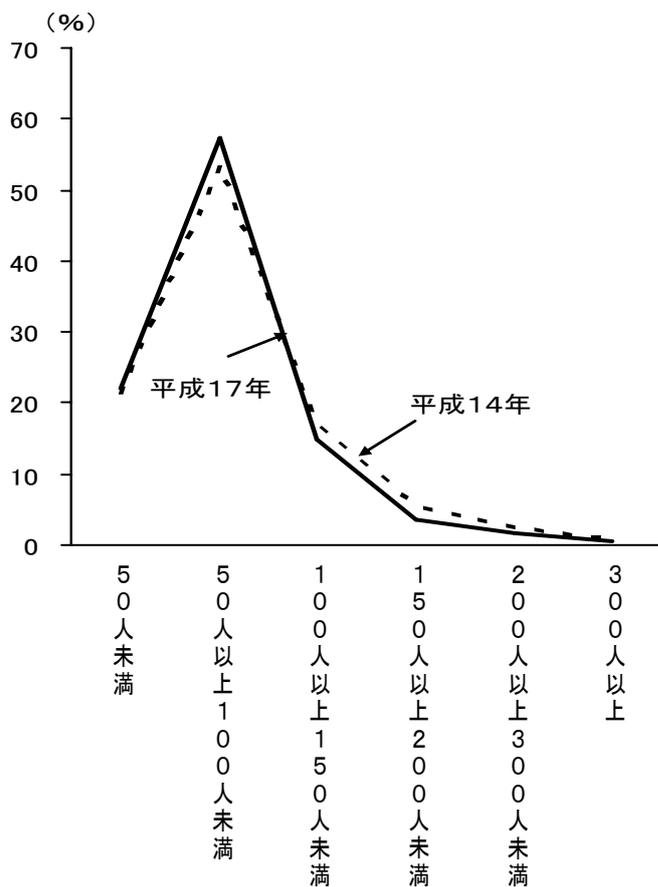
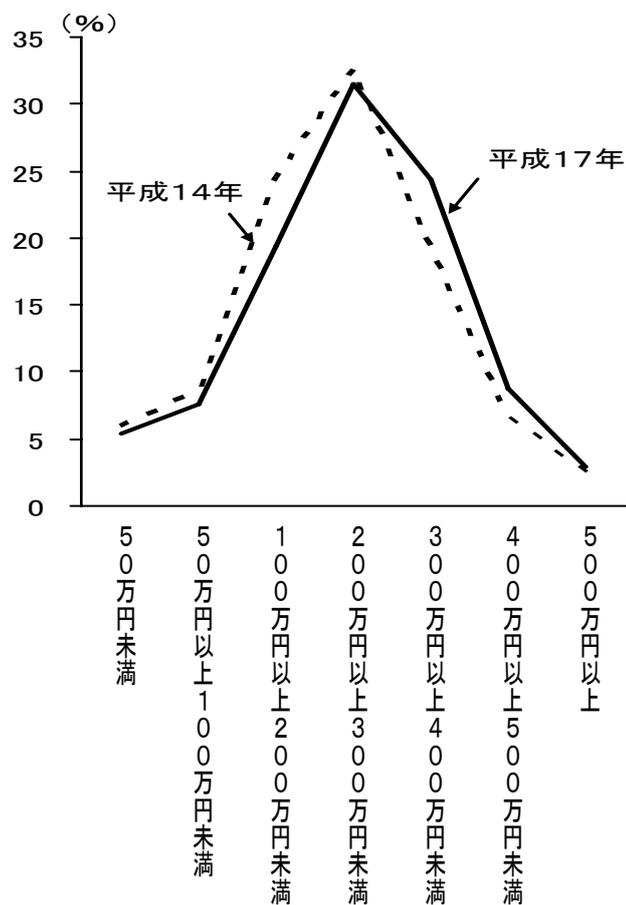
形態別、費用規模別、挙式・披露宴件数の分布



形態別、参加人数規模別、披露宴件数の分布



結婚式場(主業)



5. 年間営業費用

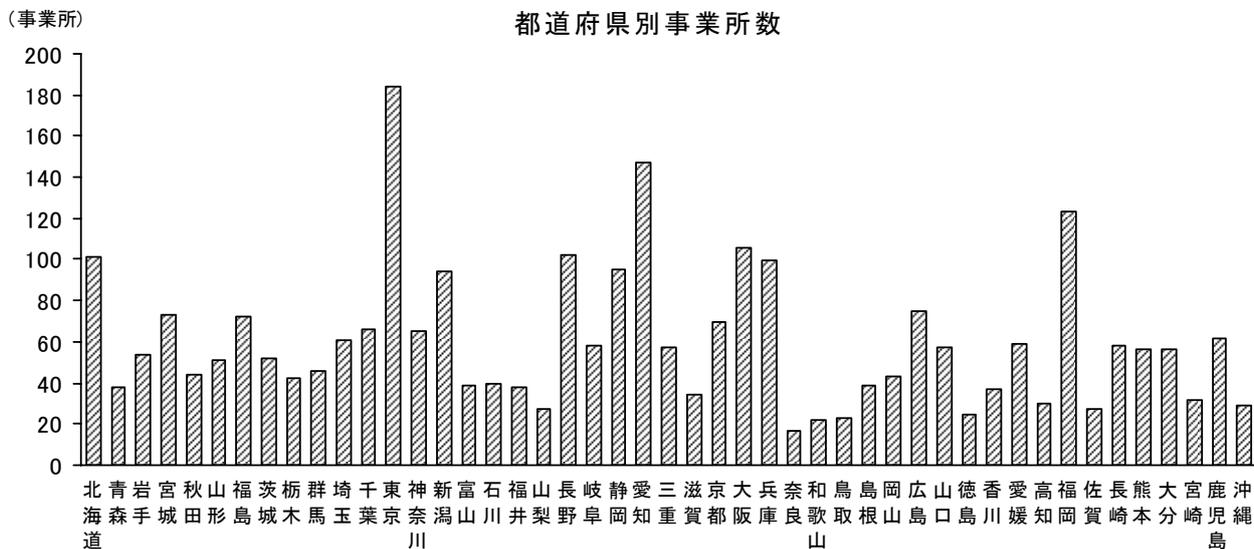
結婚式場業務に係る年間営業費用は、7782 億円、結婚式場業務の年間売上高に占める割合は 87.3%であった。内訳をみると、「食堂・売店(直営)売上原価」が 2742 億円(構成比 35.2%)となっており、次いで広告・宣伝費、テナント・委託先の仕入れ費用などが含まれる「その他の営業費用」が 2258 億円(同 29.0%)、「給与支給総額」が 1928 億円(同 24.8%)などとなっている。

費用区分別、結婚式場業務に係る年間営業費用

費用区分別	平成14年	平成17年	構成比 (%)	前回比 (%)
	(百万円)	(百万円)		
計	870,863	778,194	100	▲ 10.6
給与支給総額	211,574	192,815	24.8	▲ 8.9
施設管理費	37,929	32,485	4.2	▲ 14.4
賃借料	56,947	52,959	6.8	▲ 7.0
土地・建物	48,302	45,243	5.8	▲ 6.3
機械・装置	8,645	7,716	1.0	▲ 10.7
食堂・売店(直営)売上原価	335,253	274,173	35.2	▲ 18.2
その他の営業費用	229,160	225,762	29.0	▲ 1.5

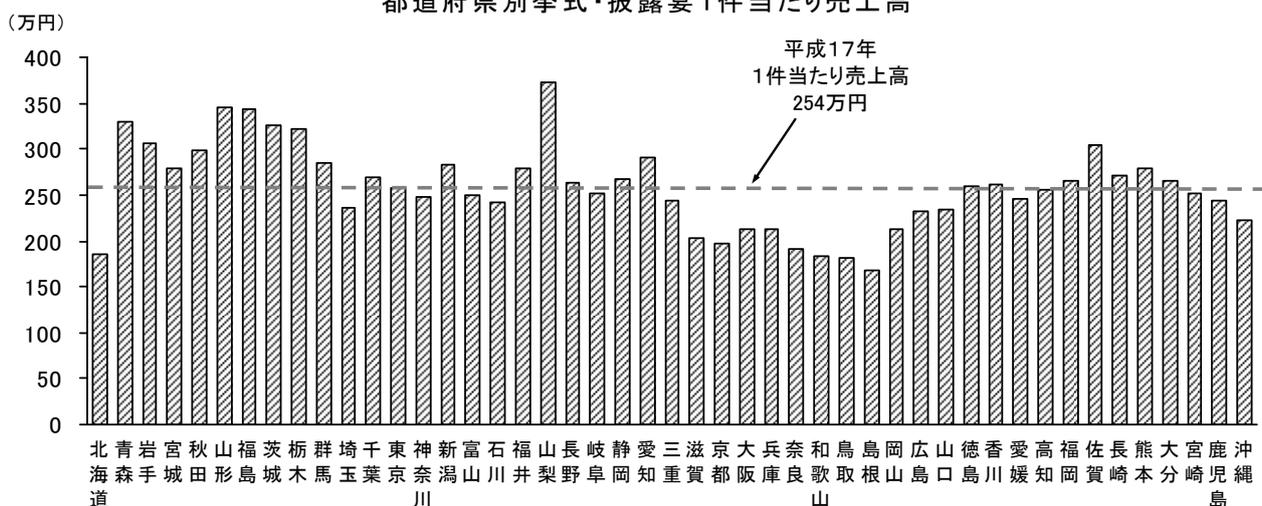
6. 都道府県別

都道府県別に事業所数をみると、人口の多い地域に集中しており、東京が 184 事業所、愛知が 147 事業所、福岡が 123 事業所、大阪が 106 事業所と続いている。



また、挙式・披露宴1件当たりの売上高をみると、山梨が最も高額で 372 万円となっており、山形が 345 万円、福島が 343 万円、青森が 330 万円の順となっている。また、全国平均の 254 万円を超える県は 25 県となっており、さらに上位 10 県のうち、5 県が東北地方となっている。

都道府県別挙式・披露宴1件当たり売上高

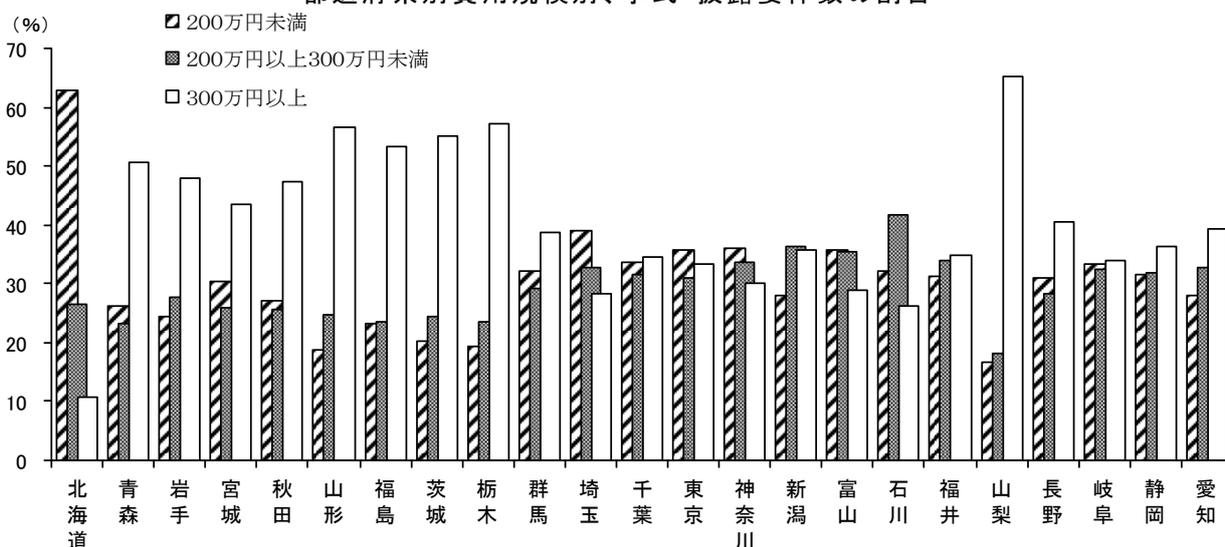


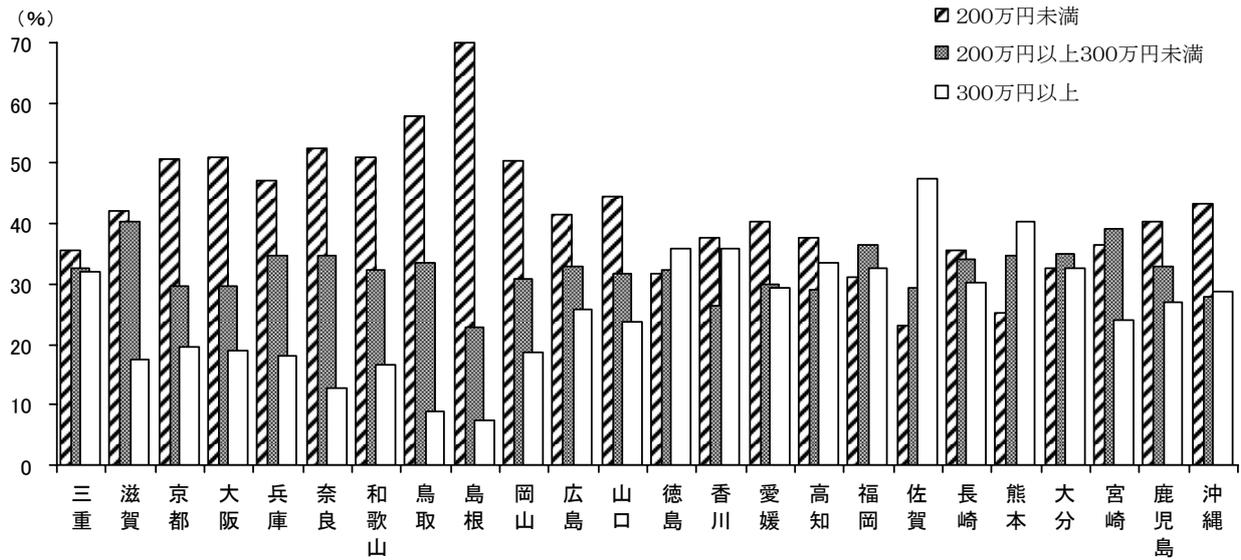
挙式・披露宴1件当たりの売上高の上位都道府県

	事業所数	結婚式場業務 の年間売上高 (百万円)	1事業所当たり の売上高 (万円)	件数	1件当たり の売上高 (万円)
全国計	2,826	891,146	31,534	351,055	254
1 山梨	27	8,772	32,490	2,356	372
2 山形	51	12,892	25,279	3,739	345
3 福島	72	20,232	28,101	5,901	343
4 青森	38	8,633	22,718	2,614	330
5 茨城	52	20,868	40,131	6,405	326
6 栃木	42	14,735	35,084	4,581	322
7 岩手	54	9,915	18,361	3,234	307
8 佐賀	27	10,108	37,436	3,316	305
9 秋田	44	8,411	19,116	2,827	298
10 愛知	147	64,526	43,896	22,214	290

都道府県別に、費用規模別の挙式・披露宴件数の割合をみると、東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、茨城、栃木では「300万円以上」の割合が4割を超えており、「200万円未満」、「200万円以上300万円未満」の割合は、宮城を除きそれぞれ3割弱となっている。これは、参加人数規模別でみると、「100人以上」の件数割合が高いことから、1件当たりの費用が高くなっていることがわかる。一方、関西（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）、鳥取では、「300万円以上」の割合は2割に満たないものとなっており、参加人数規模別でみると、「100人以上」の件数割合は1割未満となっている。

都道府県別費用規模別、挙式・披露宴件数の割合





都道府県別参加人数規模別、挙式・披露宴件数の割合

